

平成28年度◇役員

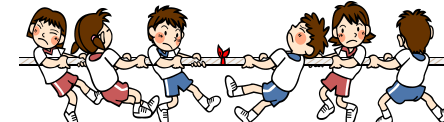
- 相談役◇吉濱 剛 (家庭教育支援アドバイザー)
会長◇佐事 安弘 (石垣市立新川小学校校長)
副会長◇宮良 勝也 (石垣市立真喜良小学校校長)
副会長◇高木 健一郎 (石垣市立平真小学校教頭)
副会長◇上原 太郎 (石垣市立登野城小学校教頭)
理事長◇小林 弘樹 (石垣市立八島小学校教諭)
副理事長◇花城 正憲 (石垣市立新川小学校教諭)
副理事長◇伊波 勇史 (石垣市立白浜小学校教諭)
副理事長◇宮良 善起 (竹富町立白浜小学校教諭)
事務局◇新垣 三貴子 (石垣市立登野城小学校教諭)
事務局◇仲底 美香 (石垣市立登野城小学校教諭)
事務局◇嵩原 要 (石垣市立八島小学校教諭)
計◇金城 梢 (石垣市立登野城小学校教諭)

子ども達の笑顔を求めて…

吉濱 剛 副会長の後任として平成二七年度から本会の会長を務めています。新川小学校長の佐事安弘と申します。平成二十八年度は、多くの皆さんに学校体育研究会を知って頂くことと合わせて会員の皆様いろいろな情報を共有してもらうために会報を発行することになりました。幸いにも、過去に会報を担当していた上原太郎先生が久々に教育事務所から登野城小学校教頭として戻られましたので、今回も担当して頂きます。

教科体育は、他の教科と違い「不易と流行」における「流行」の面が多いと言われてきました。それは、その時代、時代に必要なニーズに答えるよう体育の授業が展開されてきたという事です。これからの体育の授業は、「どうすれば知識や技能を子どもたち自身に身に付けていくかという視点」に立った授業の展開が望まれます。つまり、子ども達自身が積極的に運動に関わり自らその運動の知識や技能を身に付けるような学習活動がなされなければならないと考えます。

これまでの授業でも子ども達自身が自己の「めあて」や「課題解決」に向けた授業が展開されて来ましたが、なお一層子ども自身も自主的に活動する授業が望まれます。私達、教師は、子ども達が安心して活動出来る場を提供し授業の流れを組み立てなければなりません。本会は、日々の体育の授業を大切に、会員による授業を毎年二本(体育と保健体育)打っています。六年に一度回ってくる沖縄県学校体育研究大会受入が最も大きな研究会ですが、その間互いに子ども達の笑顔求めて体育の授業研究に取り組みませんか?興味・関心のある先生方、私達と勉強しましょう。



子ども達の笑顔を求めて…

八重山地区小学校体育研究会
(石垣市立新川小学校校長)
会長 佐事安弘



提案授業

授業づくりのポイントとは…

授業者◇石垣市立大浜小学校 教諭 宜保勇人



今回は五年生の「水泳」の単元で授業を実践しました。この授業では、一昨年の西部地区体力向上指導者研修の水泳コースで学んだことを生かして授業づくりを行いました。授業づくりのポイントは「系統性」、「学び合い」(アクティブラーニング)と「運動の特性」です。

「系統性」については、まず指導案において五・六年の二年間を見通した指導と評価の計画を立案し、指導案の中に組み込みました。体育においては各運動領域において、低・中・高とそれぞれ二年間を見通した指導と評価の計画を立てることが重要です。またワークシートにおいても五・六年の二年間を見通したワークシートを使用することで、系統性に留意した効果的な指導が実践できるように工夫しました。

次に、「学び合い」(アクティブラーニング)では、バディシステムを取り入れた学習活動を行いました。パネルやネームカードを使って、現在の自分の泳力や自分の目標を見える化(視覚化)しました。また課題に応じた練習方法をパネルや動画(アイパッド)を使って提示することで、個に応じた効果的な練習方法が選択できるように工夫しました。そうすることで、ペアの話し合い活動では、自分の課題をもとに本時の練習内容を互いにバディへ伝え、個の課題に応じた練習に取り組みことができました。

次に体育の授業づくりで意識すべき点は、「運動の特性」です。水泳の特性は、水の浮力を利用したり、水の抵抗に逆らい、また利用したりして、自分の体を水中で思うように操作することです。また運動の特性と共に、水の特性として「浮力」、「抵抗」、「水圧」の三点を理解することも重要です。今回の授業では授業の前半部分において、徐々に水深を深くしていく運動を取り入れ、水への恐怖心の克服と水圧に慣れる運動を行いました。この水と水泳の二つの特性を考慮した上で、指導を行うことが効果的な指導へとつながります。

今後の課題は、どの学校でも使用できる系統性に留意したワークシートの作成を目指したいと考えております。この系統性を意識した水泳の取り組みが、他の運動領域の先行事例となるよう、今後も取り組んで参ります。また八島小学校の水泳に関する実践例や西部地区での水泳に関する実践例もありますので、ぜひこの機会にご確認下さい。共に八重山の体育会を盛り上げて参りましょう。私自身、良い経験をさせて頂きました。ご指導、ご助言頂きました先生方、ありがとうございました。



勇人先生の授業を終えて

文責 登野城小学校教諭宮良善起

今回の授業も多くの学びがありました。西部地区から得たことを取り入れた今回の授業、キーワードは「系統性」：、指導案、ワークシートからも伺えることができました。

五・六年の二年間を見通した指導と評価の計画は、今後の八重山スタンダードとなることでしょう。さらに、二年間を見据えたワークシートの作成もありました。★今後、全学年分作成したい。★八重山全体で使えるモノを作成したい、など、今後の抱負も：さて、授業では：

子ども達は、自分の課題を把握しており、仲間と協力しながら、その課題解決に向け真剣に取り組んでいる様子が見られました。学習規律もしっかりしており、学級経営の良さが感じられる授業でもあり、参観された先生方も口をそろえて話されていました。

掲示物として個人の泳力や、泳げるまでのステップ表（目標）が「見える化」されておりました。さらに、ICT機器の活用という事で、アイパッドが準備されており、その活用は、見学者が泳いでいる仲間を撮影したり、予め用意された泳法確認の動画を見たりするなど、一人一人が主体的に学びまわって行っていました。

めあての確認、振り返りの場面では、ペア同士、発表する姿が見られ、活動中もお互いアドバイスしながら練習に励んでいました。

●授業研では：

準備運動が簡単だったのでは！の声に対し、主に使う部位を重点的に行うことを意識した。

ウォーミングアップでは、水泳の特性でもある「水圧」が徐々にかかるよう意識した活動を取り入れたなど、西部地区の伝達もかねた授業展開だったこと伝える場面がありました。

「泳げるまでの十のステップ」では、さらに細かい運動があってもいい

のでは！という意見もありました。また、体育の授業では、子どもにストンと落ちるアドバイス、声かけが大切！スモールステップという意味では、ピート板やヘルパーなどを使い、とりあえず、二十五メートル泳がせ、自己肯定感をもたせることが大切！その次に、ピート板なし、ヘルパーを減らしてなどレベルを上げていく方法もあるのではという意見もありました。

また、水泳では、「呼吸」が大切であり、その際息を最後まで吐ききることにより、より良い息継ぎにつながる。さらに、自分にあつたリズムをつかませることも重要だということもアドバイスももらいました。

八重山小職員からは、系統性を持たせた実践例の紹介がありました。

登小職員から、体育フアイルを持ち上がりしている。それに今回の系統性を持たせたワークシートがあれば、次の学年でも効果的に指導にいかせ更によいのでは！という声もありました。

その他、まだまだたくさん声がありました。

今回の授業に至るまで、大小の先生方にお世話になりました。感謝申し上げます。

次なるチャレンジヤーは保健領域、『金城梢先生（登小）』です！

チバリヨ！

今回は、自分の課題を把握しており、仲間と協力しながら、その課題解決に向け真剣に取り組んでいる様子が見られました。学習規律もしっかりしており、学級経営の良さが感じられる授業でもあり、参観された先生方も口をそろえて話されていました。

掲示物として個人の泳力や、泳げるまでのステップ表（目標）が「見える化」されておりました。さらに、ICT機器の活用という事で、アイパッドが準備されており、その活用は、見学者が泳いでいる仲間を撮影したり、予め用意された泳法確認の動画を見たりするなど、一人一人が主体的に学びまわって行っていました。

めあての確認、振り返りの場面では、ペア同士、発表する姿が見られ、活動中もお互いアドバイスしながら練習に励んでいました。

●授業研では：

準備運動が簡単だったのでは！の声に対し、主に使う部位を重点的に行うことを意識した。

ウォーミングアップでは、水泳の特性でもある「水圧」が徐々にかかるよう意識した活動を取り入れたなど、西部地区の伝達もかねた授業展開だったこと伝える場面がありました。

「泳げるまでの十のステップ」では、さらに細かい運動があってもいい



次回の研究授業

授業者 金城梢（登小教諭）
 領域 保健
 対象 第四学年
 単元 育ちゆくわたし
 日時 十月下旬頃
 ※詳細は後日お知らせ

第五五回 九州地区学校体育研究発表大会

第三七回 沖縄県学校体育研究発表大会（島尻大会）

開催日時・場所

一日目 平成二十八年十一月十七日（木）

◇九時受付 一〇時開始〜十二時一〇分

◇全体会（浦添市でだこホール）

◇部会（研究発表・協議）十四時〜十七時

二日目 平成二十八年十一月十八日（金）

◇八時四五分受付 公開授業（糸満小学校）

◇公開授業①三年生（体づくり運動）中山美野乃 教諭

◇公開授業②六年生（ソフトバレーボール）大城 和之 教諭

※体育の授業でソフトバレーボールを取り入れることにより子ども達に確かな運動量の保障ができるだろうか？生涯体育を考えた時、体験させることは重要である、等々の多くの課題提供の大会になるであろう。

小学校部会研究主題

一 わかる、できる、たのしい、発達段階に応じた授業の工夫

お知らせ！

平成二十八年年度沖縄県小学校体育実技指導者講習会に参加して

石垣市立登野城小学校教諭金城淳

講義「小学校体育科における授業づくりのポイント」：清水 将 岩手大学准教授 実技

表現運動 運動の苦手な子に、表現運動の楽しさを味わわせる指導の工夫
 器械運動 運動の苦手な子に、器械運動の楽しさを味わわせる指導の工夫
 ボール運動 運動の苦手な子に、ボール運動の楽しさを味わわせる指導の工夫

今回の研修を通して、よい体育の授業とは何か、その二重構造を教えていただき、目標の具体化と教材づくりが大切だと学ぶことができました。教材と授業づくりが大切であり、教材の機能を高める教具の準備も教師自身が意図的に準備する必要があると教えていただき、すぐにでも実践していきたいと感じました。

よい指導のあり方とは、できない原因が様々なので、できる理由を考え教材を開発することが大切であり、子どもに寄り添って（調整して）考え、やっている価値を認めてあげる大切さを学ぶことができました。小さな成長も認め、褒めて伸ばす授業づくりを大切にしていきたいと思えます。

表現運動が苦手な子も楽しさを味わわせることができれば、恥ずかしがらずに積極的に参加できるようになると感じました。変化のある動きの組み合わせでストーリーを創る楽しさを体験することができ、「みんな合わせてストーリー」を合言葉に、子どもたちにも表現運動の楽しさを味わわせる指導の工夫を行っていきたく感じました。表現領域の特性を教師自身がしっかり理解し、評価していく大切さを教えていただきました。

どの子にも「できる」「わかる」で未来に架け橋をつなぐ体育授業を実践していきます。



以前、八重山管内小学校に勤務していた、金子雅仁先生、宮城力先生、西山哲平先生（左から）、現在は県学校体育研究会事務局メンバーとして活躍しています。写真提供＝佐事安弘会長

本研究会
公式ブログ



<http://syoutaiken.ti-da.net/>

◇◇本研究会の活動に関する情報を随時お知らせ致します。是非とも登録の上、ご閲覧下さい。◇◇

編集後記

公開提案授業づくりにおいても、授業者の勇人先生の提案のもと、指導案検討から授業研まで多くの先生の先生方に関わって頂き、指導案を練り上げ、さらには振り返りを行うことができました。（『勇人先生の授業を終えて』参照）中々でも、吉濱剛元会長として関わって頂いていることは、大きな励みとなりました。授業研究会等へは磯部大輔先生（八教事）にも参加して頂きありがとうございました！八重山地区の先生方、今後とも小体研の活動へご理解・ご協力等よろしくお願ひします。感謝!!